



ふらり らいふらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 180

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

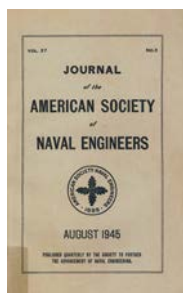
問) 昭和20年8月に出版された雑誌を読みたい。

答) 雑誌 → 出版年月から探す → 昭和20年8月 のみ → 3件該当

閉架

- ① 『Journal of the American Society of Naval Engineers: Vol. 57, no. 3』(556.9/J82/57-3)
- ② 『海軍辞令公報 甲 第1876号～甲 第1881号』
(397.1/Ka21/1-1876)
- ③ 『主婦之友 第29巻第8号』(051/Sh99/29-8)

①



②



③



* 昭和20年9月に出版された雑誌を同じ方法で検索してみると、10件該当しました。終戦前と終戦後、当時の資料からも空気が一変したことを感じられます。

昭和20年8月に出版された資料をお持ちの方で、寄贈していただける方は、ご連絡ください。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

戦後 70 年

本土決戦にむけて

昭和 20 年(1945)に入ると、東京をはじめ日本各地への空襲が激化し、3 月には米軍が沖縄への上陸開始し、激しい地上戦により多くの住民が犠牲となるなど、戦局は悪化の一途をたどった。

3 月に「国民義勇隊組織ニ関スル件」が閣議決定され、6 月 22 日には「義勇兵役法」が制定公布、即日施行された。これによって 15 歳以上 60 歳までの男子、17 歳以上 40 歳までの女子（学齢以下の子女を持つ母親等不適格者を除く）に義勇兵役を課し、勅令によって義勇召集を行って国民義勇戦闘隊に編入することが定められた。

昭和 20 年 7 月 11 日発行の『週報 450・451 合併号』では「義勇兵役法問答」と題して、義勇兵役について解説している。

義勇兵役法問答

問 現行「兵役法」の他に「義勇兵役法」を必要とするようになったのは何故ですか。

答 皇国の隆替を決すべき大東亜戦争の現段階に即応して、真に一億国民を挙げて光栄ある天皇親率の軍隊に編入し、各人その総力を最大限に発揮し、皇土防衛のための直接決戦参与、その他運輸、通信、築城、軍需品の生産補給、修理等の任務に服させる必要があり、そのためには現在の兵役法による十七歳乃至四十五歳の男子以外の帝国臣民中、その大部に対し、大東亜戦争間の臨時立法として、新たな兵役義務を課する必要が生じたからです。

『週報 450・451 合併号』（昭和 20 年 7 月 11 日）

義勇兵は、戦時に際して自らの意志により軍事行動に参加する正規の軍人ではない兵士のことであるが、義勇兵役は通常の兵役と同じく法的義務があり、召集に応じなければ刑事罰の対象となった（義勇兵役法第 7 条）。

◎参考文献：『昭和 二万日の全記録 7』（210.7/Ko19/7）開架
『日本本土決戦』（391/F86/）閉架
『史料週報 第 32 巻』（317/Sh89/32）

—図書室から—

ハングオール展示にて「昭和 20 年 終戦」「高校野球 100 年」に関する資料を紹介しています。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 180

2015 年 7 月 20 日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1